

第4期第5回 横浜市税制調査会

日時：平成30年7月4日（水）17時00分～19時00分

場所：市庁舎 2階応接室

1. 開会

17:00～17:05

2. 議題：31年度以降の横浜みどり税の取扱いについて

17:05～18:55

3. 閉会

19:00

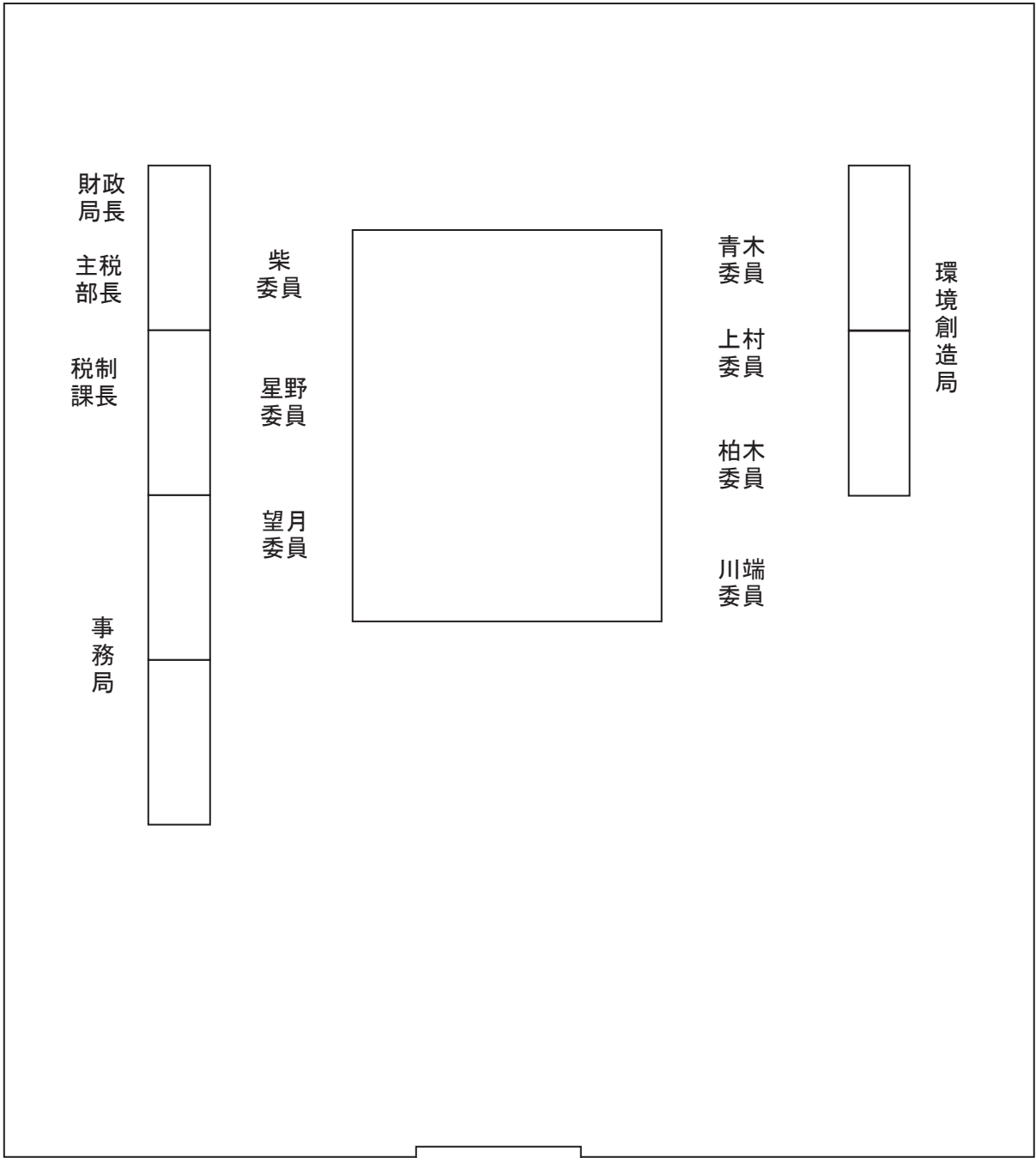
平成 30 年度横浜市税制調査会委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属 等
青 木 宗 明	神奈川大学 経営学部教授
上 村 雄 彦	横浜市立大学学術院 国際総合科学群教授
柏 木 恵	キャノングローバル戦略研究所 研究主幹
川 端 康 之	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院教授
柴 由 花	常葉大学 法学部教授
星 野 菜穂子	和光大学 経済経営学部教授
望 月 正 光	関東学院大学 経済学部教授

【第4期第5回横浜市税制調査会 座席表】

平成30年7月4日(水) 17時00分から19時00分まで
市庁舎 2階応接室



出入口

「これからの緑の取組[2019-2023]」（原案）取組・事業費一覧

資料1

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む（事業費367億円（73%）【注1】）

施策1 樹林地の確実な保全の推進

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	J うち一般財源		K うち国費・市債	備考
								I 超過分	既存分		
事業名	取組名	取組内容を補足説明 ※変更内容	目標値	継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	● 緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全	● 緑地保全制度による新規指定:300ha	継続	充当	①、③	32,682	4,084	2,853	25,745	
		● 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り	(市による買取りの想定面積:113ha)								
事業費 327億円【注1】		● 保全した樹林地の整備	● 保全した樹林地の整備:推進								

施策2 良好な森を育成する取組の推進

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	J うち一般財源		K うち国費・市債	備考
								I 超過分	既存分		
事業名	取組名	取組内容を補足説明 ※変更内容	目標値	継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
② 良好な森の育成	(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進	・ 生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、良好な森づくりの実施 ・ 目標とする森の将来像や管理方法を定めた「保全管理計画」の策定	● 森の維持管理:推進	継続	充当	①、③	3,076	2,313	763	-	
	(2) 指定した樹林地における維持管理の支援	・ 土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、維持管理費用の一部を助成 ※樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分や不法投棄防止のためのフェンス設置、簡易土留めの設置の費用についても助成	● 維持管理の助成:500件								
③ 森を育む人材の育成	(1) 森づくりを担う人材の育成	・ 基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催 ・ ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報を発信	● 森づくりを担う人材の育成:推進	継続	充当	④(③)【注2】	75	75	-	-	
	(2) 森づくり活動団体への支援	・ 森づくりに必要な道具の貸出し、活動に対する助成 ・ 専門家派遣による支援 ・ 維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進	● 森づくり活動団体への支援:150団体 ● 森づくり活動団体への専門家派遣:20回 ● チッパーの貸出し:推進								
事業費 1億円【注1】											

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

施策3 森と市民をつなげる取組の推進

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	J うち一般財源		K うち国費・市債	備考
								I 超過分	既存分		
事業名	取組名	取組内容を補足説明 ※変更内容	目標値	継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
④ 市民が森に関わるきっかけづくり	(1) 森の楽しみづくり	● 森に関わるきっかけとなるイベントや広報の実施(各区での催し等で取組を展開)	● 市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施:180回	継続	充当	④	100	100	-	-	
		● 自然解説、プログラムリーダーの育成									
	(2) 森に関する情報発信	● 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップ作成 ● ウェルカムセンターの運営	● ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等:50回	継続	充当 非充当	④ ⑤	230	30	-	-	-
事業費 3億円【注1】						取組の柱1 合計	36,747	7,181	3,821	25,745	

現行計画の5か年事業費: 36,639

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる（事業費41億円（8%）【注1】）

施策1 農に親しむ取組の推進

（単位：百万円）

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	I うち一般財源		K うち 国費・市債	備考						
								超過分	既存分								
① 良好な農景観の保全	(1) 水田の保全	● 水田の継続的な保全の支援(水稲の作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付)	● 水田保全面積:125ha	継続	充当	①	490	190	-	-							
		● 良好な水田農景観保全のための水源・水路の確保	● 水源・水路の確保:10か所		非充当			⑤	-	300	-						
	(2) 特定農業用施設保全契約の締結	● 農地と農業用施設を10年間適正に管理することを条件に、農家の住宅敷地等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減	● 制度運用	継続	非充当	⑤	10	-	10	-							
								(3) 農景観を良好に維持する活動の支援	● まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援(水路等での清掃活動、農地縁辺部への植栽、水源確保のための井戸の改修、土砂流出防止) ● まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援(不法投棄対策)	● 集団農地維持面積730ha ● 農地縁辺部への植栽55件 ● 井戸の改修5地区 ● 土砂流出防止対策15件	継続	非充当	⑤	542	-	431	-
															● 周辺環境に配慮した活動への支援(牧草等の栽培、せん定枝などのたい肥化設備)	● 牧草等による環境対策20ha ● たい肥化設備等の支援25件	継続
事業費 12億円【注1】	(4) 多様な主体による農地の利用促進	● 意欲ある農家や新規参入希望者などへ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援	● 遊休農地の復元支援:1.5ha	継続	充当	①	153	153	-	-							
② 農とふれあう場づくり	(1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	● 収穫体験農園の開設支援	● 様々なニーズに合わせた農園の開設:22.8ha	継続	充当	④	2,452	170	-	-							
		● 市民農園の開設支援(栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園)			非充当			⑤	-	75	-						
		● 農園付公園の整備			充当			①	659	-	1,548	-					
	(2) 市民が農を楽しむ支援する取組の推進	● 横浜ふるさと村・恵みの里等における農を楽しむ取組の推進 ● 農体験の場の提供と授農の推進	● 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施:450回 ● 市民農業大学講座:100回 ● 農体験講座の開催:30回	継続	非充当	⑤	61	-	61	-							
事業費 25億円【注1】																	

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

施策2 地産地消の推進

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	I うち一般財源		K うち 国費・市債	備考
								J 超過分	J 既存分		
				継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
③ 身近に農を感じる地産地消の推進	(1) 地産地消にふれる機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 直売所等の整備・運営支援 ● 市民が市内産植木や草花に親しめる機会の創出(市民への配布や公共施設等への植栽に活用) ● 情報発信・PR活動の推進(情報誌やパンフレットの制作・発行等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直売所・青空市等の支援:285件 ● 緑化用苗木の配布:125,000本 ● 情報発信・PR活動:情報誌などの発行30回 	継続	非充当	⑤	293	-	293	-	
事業費 3億円【注1】											
④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	(1) 地産地消を広げる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● はまふうどコンシェルジュ(横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広める取組を自主的に行っている市民)の育成 ● 地産地消活動の情報交換の場づくり(地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等の開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ● はまふうどコンシェルジュの活動支援等:150件 ● 地産地消ネットワーク交流会の開催:5回 	継続	非充当	⑤	25	-	25	-	
	(2) 市民や企業等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民や企業等との連携の推進(生産者と企業等とのマッチングなど) ● 地産地消ビジネス創出の推進(ビジネスプランを策定するための講座を開催、認定されたプランの支援) ● 学校給食での市内産農産物の利用促進(学校給食での市内産農産物の一斉供給、小学生を対象とした料理コンクールの開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民や企業等との連携:50件 ● ビジネス創出支援:16件 ● 学校給食での市内産農産物の一斉供給:推進 ● 料理コンクールの開催:5回 	継続	非充当	⑤	42	-	42	-	
事業費 0.7億円【注1】											
取組の柱2 合計							4,067	1,283	1,236	1,548	
現行計画の5か年事業費:							3,985				

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる（事業費93億円（19%）【注1】）

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

（単位：百万円）

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	I うち一般財源		K うち 国費・市債	備考
								超過分	既存分		
① まちなかでの緑の創出・育成	(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成	・ 各区の主要な公共施設・公有地について、緑を充実させる取組を推進	● 緑の創出：36か所	継続	充当	⑤	690	-	690	-	
	(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成	● 街路樹の再生（老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生、空いている植栽樹への補植） ● 街路樹の良好な維持管理	● 並木の再生：10路線	新規	-	③	2,910	500	-	-	
			● 空き樹の補植：推進	-	⑤ → ③	240		-	-		
	(3) シンボリックな緑の創出・育成	● 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成（多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保、地域に親しまれている緑のオープンスペースが存続が困難となった場合に用地を取得） ● 公開性のある緑空間の創出支援（多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成） ※現行計画における「民有地における緑化の助成」を廃止し、制度を変更	● 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進	継続	充当	①(②、③)【注2】	1,789	417	-	1,272	
			● 公開性のある緑空間の創出支援：推進	一部変更	充当★	②(③)【注2】		80	20	-	
	(4) 建築物緑化保全契約の締結	・ 条例等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減	● 制度運用	継続	非充当	⑤	5	-	5	-	
(5) 名木古木の保存	・ 地域住民に古くから親しまれている樹木を保存すべき樹木として指定し、維持管理費用の一部を助成	● 推進	継続	充当	③	88	74	14	-		
事業費 55億円 【注1】											

★現行計画における「民有地における緑化の助成」はみどり税充当事業

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

施策2 緑や花に親しむ取組の推進

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	J うち一般財源		K うち 国費・市債	備考
								超過分	既存分		
事業名	取組名	取組内容を補足説明 ※変更内容	目標値	継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
② 市民や企業と連携した緑のまちづくり	(1) 地域緑のまちづくり	・ 計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、地域での緑化整備や維持管理活動の支援	● 新規30地区	継続	充当	②(③、④)【注2】	446	446	-	-	
	(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	・ 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成する、地域に根差した各区での取組等を推進	● 緑や花を身近に感じる各区の取組:18区で推進 ● 地域の花いっぱいにつながる取組:推進	新規	-	⑤	209	-	209	-	ガーデン シティ事業
事業費 7億円【注1】	(3) 人生記念樹の配布	・ 人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布	● 40,000本配布	継続	充当	②	58	15	43	-	
③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	・ 園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進	● 緑の創出:100か所	継続	充当	②	414	67	347	-	
事業費 4億円【注1】		・ 創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を実施	● 緑の維持管理:推進			②(③)【注2】					
④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	(1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	・ 多くの市民が訪れる場所で、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開 ・ いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育成	● 緑花による空間づくりと維持管理:推進	一部変更	充当	②(③)【注2】	2,712	1,119	415	-	
事業費 27億円【注1】		※都心臨海部に加えて、新横浜駅前などの主要な駅前、こども自然公園などの都市公園、里山ガーデンなどに展開			-	⑤			1,178	-	ガーデン シティ事業
取組の柱3 合計							9,320	5,128	2,921	1,272	

現行計画の5か年事業費: 7,784

◆効果的な広報の展開(事業費0.8億円【注1】)

具体的な取組

(単位:百万円)

A 事業	B 取組	C 取組内容	D 5か年目標	E 現行計画との比較	F 現行計画みどり税	G 取組の種別	H 5か年事業費	J うち一般財源		K うち 国費・市債	備考
								超過分	既存分		
事業名	取組名	取組内容を補足説明 ※変更内容	目標値	継続 or 新規 or 一部変更	充当 or 非充当	① 樹林地・農地の確実な担保 ② 身近な緑化の推進 ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上 ④ ボランティアなど市民参加の促進につながる事業 ⑤ ①～④以外(既存分など)					
—	—	・ 取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開(広報よこはま等の広報紙での特集、自治会・町内会などを通じたPRや実績報告、メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信など)	● なし	継続	非充当	⑤	80	-	80	-	
事業費 0.8億円【注1】											
効果的な広報の展開							80	-	80	-	

現行計画の5か年事業費: 80

【注1】事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

【注2】取組の種別の「()」は、主な取組の種別以外にも関連する取組の種別がある場合に記載しています。

(単位:百万円)

	H 5か年 事業費	J うち一般財源		K うち 国費・市債
		超過分	既存分	
取組の柱1 合計	36,747	7,181	3,821	25,745
取組の柱2 合計	4,067	1,283	1,236	1,548
取組の柱3 合計	9,320	5,128	2,921	1,272
効果的な広報の展開	80	-	80	-
合計	50,214	13,592	8,057	28,565

取組の柱ごとの事業費等の構成比

資料2

(1) これからの緑の取組[2019-2023]

(単位:百万円)

	5か年事業費		うち一般財源の超過分	
	金額	(率)	金額	(率)
取組の柱1 合計 [市民とともに次世代につなぐ森を育む]	36,747	73%	7,181	53%
取組の柱2 合計 [市民が身近に農を感じる場をつくる]	4,067	8%	1,283	9%
取組の柱3 合計 [市民が実感できる緑や花をつくる]	9,320	19%	5,128	38%
広報 合計 [効果的な広報の展開]	80	0%	0	0%
「これからの緑の取組」 事業費 合計	50,214	100%	13,592	100%

※ 事業費は見込み値であり、毎年度の予算は議会の議決をもって決定します。

※ 四捨五入の関係により合計が一致しないことがあります。

(2) 横浜みどりアップ計画 (平成26-30年度) 【注1】

(単位:百万円)

	5か年事業費		うち一般財源の超過分	
	金額	(率)	金額	(率)
取組の柱1 合計 [市民とともに次世代につなぐ森を育む]	36,639	76%	6,719	52%
取組の柱2 合計 [市民が身近に農を感じる場をつくる]	3,985	8%	1,661	13%
取組の柱3 合計 [市民が実感できる緑をつくる]	7,784	16%	4,639	36%
広報 合計 [効果的な広報の展開]	80	0%	0	0%
「これからの緑の取組」 事業費 合計	48,488	100%	13,019	100%

【注1】現行の横浜みどりアップ計画(平成26-30年度)の当初計画数値です。

※ 四捨五入の関係により合計が一致しないことがあります。

税率の試算

- 課税根拠、課税手法、課税期間、用途については、現行横浜みどり税と同様
- 現行の横浜みどり税の個人・法人間の負担割合は、個人100円につき法人1%を採用しており、税率は、個人900円・法人9%
- 用途の考え方に基づいて、横浜みどり税を充当すべき事業を選定し、積算すると、「これからの緑の取組[2019-2023]」(原案)のうち、横浜みどり税の必要財源額は、約136億円(総事業費502億円)
- これらの全てを市民税(個人・法人)均等割超過課税によって賄うこととした場合、個人の税率は、900円、法人は規模に応じた均等割額の9%相当額(4,500円～270,000円)と試算

欠損法人の割合 (20～28年度)

	※ 法人数 (件) A	欠損法人数 (件) B	割合 (%) B/A
	20年度	95,941	58,781
21年度	96,659	62,833	65.0%
22年度	96,579	63,475	65.7%
23年度	96,153	63,013	65.5%
24年度	94,146	61,757	65.6%
25年度	94,660	60,164	63.6%
26年度	95,541	59,289	62.1%
27年度	96,967	58,970	60.8%
28年度	98,489	58,297	59.2%

※ 「法人数」とは、法人税割の課税対象法人数(収益事業を行わない公益法人等は含んでいない。)